

2024年4月2日  
SCSK株式会社

---

## SCSKが札幌市ならびに北海道大学と「地元愛／母校愛による『応援型』ふるさと納税プラットフォーム実証事業(仮称)」に関する連携協定を締結

---

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、札幌市ならびに国立大学法人北海道大学(以下、北海道大学)と「地元愛／母校愛による『応援型』ふるさと納税プラットフォーム実証事業(仮称)」に関する連携協定を締結したことを発表いたします。

### 1. 概要

「地元愛／母校愛による『応援型』ふるさと納税プラットフォーム実証事業(仮称)」は、SCSKが立上げを予定しているもので、縁やゆかりのある地域への貢献意欲や愛着心をもとに、その地域にある大学に対してふるさと納税を活用し、地域の関係人口の増加や地域活性化への貢献に支援することを目指す仕組みです。

今回、本プラットフォームの目指す姿に共感頂いた札幌市ならびに北海道大学と連携協定を締結し、企画内容のブラッシュアップと実証実験にご協力頂きます。

2025年に全国地域に向けた本プラットフォームのサービス提供を目指します。

#### 【連携協定の主な内容】

##### 1. 地元愛／母校愛による『応援型』ふるさと納税プラットフォームの仕様検討・構築

- ・ ふるさと納税ポータルサイトの仕様検討・構築・運営
- ・ 現行業務・ルールなどの情報共有
- ・ 仕様案に対する評価
- ・ サービス化後の本導入の検討

##### 2. 広報・PR活動

- ・ 札幌市内の北海道大学以外の大学に対する普及
- ・ 札幌市以外の自治体に対する普及

### 2. 取り組む社会課題

ふるさと納税を活用するステークホルダーが抱える主な課題は以下のとおりです。

- ・ 地方自治体:大学などをはじめとする多様な主体者と連携した地方創生の実現
- ・ 教育機関:地域課題の解決に貢献できる魅力ある人材の育成と地域への定着、並びにそのための財政基盤強化
- ・ 寄付者:お世話になった教育機関や地域への貢献(経済的に難しい、寄付文化がない)

### 3. 本プラットフォームの目指す姿

各ステークホルダーの課題解決を踏まえ、ふるさと納税の仕組みを用いて教育機関を応援するプラットフォームを立ち上げます。本事業の特長は、『目指すは現在の「米百俵」』をテーマに、寄付の用途を教育機関に限定した「教育機関ファースト」です。母校愛や大学の研究テーマへの関心をモチベーションにふるさと納税を行い、その返礼として教育機関は教育コンテンツの提供などを行うことで、寄付者のその地域の教育機関への関心を継続的なものにするとともに、関係人口の増加を目指します。

#### <イメージ図>



### SCSKのサステナビリティ経営

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を成長戦略として推進しています。

社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは「いきいきと活躍できる社会の実現」に資するものです。

- ふるさと納税の活用による、地域教育の充実化
- 人材育成を通じた、地域課題解決への貢献

SCSKグループはこの7つのマテリアリティの方向性を踏まえて「グランドデザイン 2030」を策定しており、その中で長期的に目指す姿として「共創 IT カンパニー」を掲げ、SCSKグループの最大の財産である人的資本力の向上をもって、お客様やパートナー、社会との共創を推進し、各種課題に対し、価値提供し続ける企業グループを目指しています。

- ・SCSKグループ、経営理念の実践となる 7つのマテリアリティを策定

<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html>

## 本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

産業事業グループ

産業事業グループ統括本部 統括部 遠藤

TEL:080-3538-1254

E-mail: [ig-bizpro-info@scsk.jp](mailto:ig-bizpro-info@scsk.jp)

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 須田

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。